

ご家庭でLPガスをお使いのみなさまへ

LPガス
周知文書



① 点火・消火は必ず 目で確かめてください。

- ガス機器の近くに、燃えやすいものは置かないでください。
- マッチ等にて点火する場合には、点火後器具栓を開いてください。
- ガスを使っている時は、その場を離れないようにしてください。風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火がつくことがありますので、たいへん危険です。



② いつも青い炎でお使いください。

- ガスをお使いの時は、炎は必ず「青い炎」でお使いください。赤っぽい炎は、不完全燃焼をしている炎です。



ガスコンロの目詰まりは不完全燃焼の原因となります。定期的に器具ブラシなどで掃除をしてください

③ ゴム管等の配管は定期的に点検してください。 特にゴム管は早めに交換してください。

- ゴム管からのガス漏れの点検は、石けん水を塗り泡が出るかで分かります。(泡が出た場合は、すぐに新しいゴム管に取替えてください。) また点検後はきれいに拭き取ってください。
- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
- 三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。



④ ガス栓は、使用時には全開で、使用後には完全に閉めてください。

- 外出する時やおやすみ前には、ガス栓、器具栓が閉まっていることを確認してください。

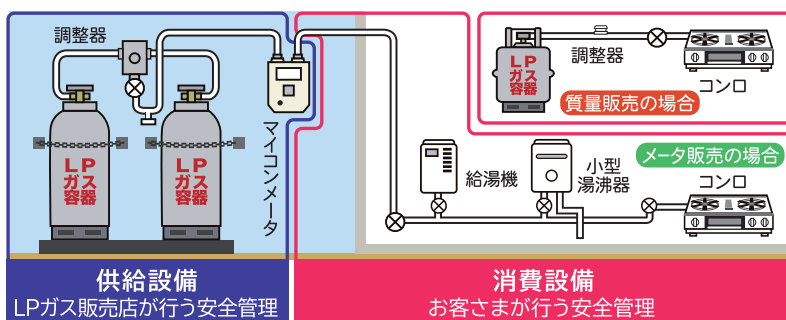
⑤ こんなときには LP ガス販売店にご連絡ください。

- 特に固定式のガス設備の工事や新しくガス機器を取り付ける時、または修理・取りはずす時。(お客様が自ら工事を行わないでください。) ※ふろがまや湯沸器の中には吸気口や排気設備が必要な機種があります。
- 消費設備を変更した時は、その内容を LP ガス販売店に連絡してください。

日頃お使いになるガス機器の安全管理は、ご自身の手で責任を持って行ってください。

供給設備とは

容器からマイコンメータまでは、供給設備と呼ばれ、この部分はLPガス販売店が責任もって安全管理します。

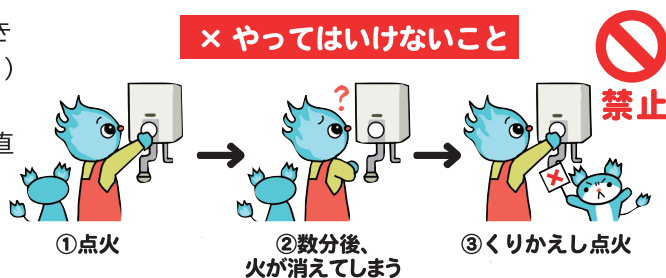


消費設備とは

マイコンメータの出口からガス機器まで(メータのない場合は容器からガス機器まで)消費設備と呼ばれ、法律上の管理及び点検責任はお客さまにあります。

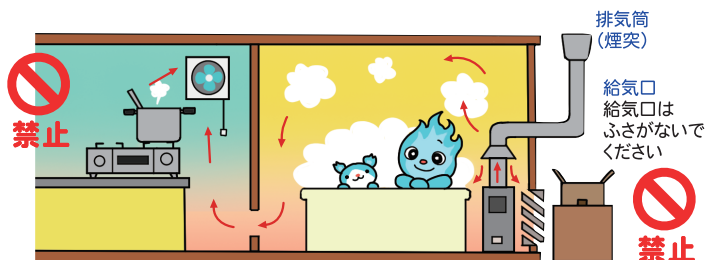
6 小型湯沸器やガスストーブをご使用のみなさまへ

- 室内でガス機器を使用する時は、換気扇を回したり、ときどき窓を開けて十分に換気してください。(冷暖房中にも忘れずに。)
- 小型湯沸器点火時やご使用中に火が消える場合は、安全装置が作動している可能性がありますので、再点火は行わないで直ちに使用を中止し、LP ガス販売店にご連絡ください。
- 室内でガスストーブ、ガスファンヒーターを使用する時は、必ず30分に1回1分程度、窓を空けて換気してください。



自然排気式のふろがまをご使用の方に

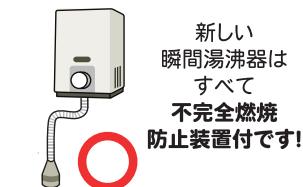
左図のような自然排気式(煙突の付いたもの)のふろがまを使用する時は、換気扇を使用しないでください。(気圧の変化により排ガスが逆流してCO(一酸化炭素)中毒を起こすことがあります。)



不完全燃焼防止装置が付いていない湯沸器やふろがまをご使用の方に

不完全燃焼防止装置付や屋外設置式など安全な機器へ交換をお願いします。

排気筒・煙突のついたガス機器の場合、煙突の外れなどでCO中毒に至る可能性があります。



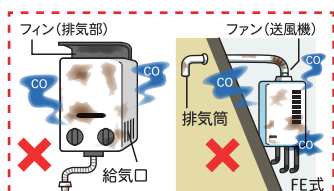
更に安心の備え!

中毒事故を未然に防ぐ見守り番



- 一酸化炭素警報器
- ガス警報器
- 住宅用火災複合型警報器

当社がガスの供給を行っている間は、法令の定めるところにより、お客様の承諾を得て、ガス機器の調査及び内管の検査をいたしますので、ご協力をお願いいたします。



不完全燃焼防止装置が付いていないと...

- 軽度の中毒でも、頭痛・吐き気・耳鳴りを起こします
- 気がついたときには動けず、重症になると意識を失ったり、死亡に至ることもあります
- わずか0.01%の薄い濃度のCOでも、幼児などではけいれんを起こすことがあります

もしもガスがもれたら!

- 室内の火は全部消してください。
- コンセントやスイッチに触れないでください。火花が出てガスに着火するおそれがあります。
- 戸や窓を大きく開けてください。
- すべてのガス栓、器具栓を閉めてください。

災害時の対策は

地震のときは

- ガス栓、器具栓を閉め(火をすべて消し)、二次災害防止のため、揺れが大きい時には、揺れがおさまった後で屋外の容器バルブも閉めてください。

台風・洪水の恐れがあるときは

- 容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないかしっかり固定されているか確かめてください。

LPガス販売店に連絡してください。

- 連絡の際は氏名・住所・状況・災害の発生のおそれがある事実などをお知らせください。
- LPガス販売店の点検を受けるまでガスを使わないでください。※万が一、LPガスによる災害が発生した場合にも連絡してください。

気をつけよう!

ガス機器をご使用の際にはご確認ください。

- LPガスには、必ずLPガス用機器をご使用ください。都市ガス用機器は使用できません。

小型容器の取扱いについて

- 容器が倒れないよう平らな場所に置く等、適切な設置をしてください。
- 容器は、火の気のない風通しの良い屋外に保管してください。

ガス警報器のご使用にあたって

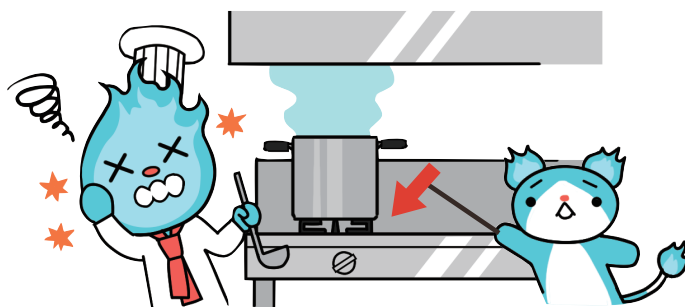
- 警報器が適正な位置に設置されているかを確認しましょう。
- 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- 警報器のまわりに物を置かないようにしましょう。
- 警報器が交換期限内のものかを確認しましょう。

業務用施設でLPガスをお使いのみなさまへ

もし、〇〇が起きたら...こんな時どうする？

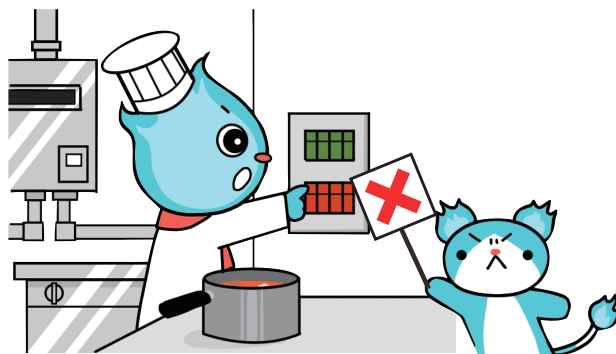
CASE ガス機器使用中に「不快なニオイ」「目がチカチカ」「気分が悪い」

- CO（一酸化炭素）中毒の恐れがあります。
- すぐにガス機器の使用を中止して、十分な換気を行ってください。
- ガス機器の販売店や機器メーカーに点検を依頼してください。（原則有償となります。）
- LP ガス販売店に連絡してください。



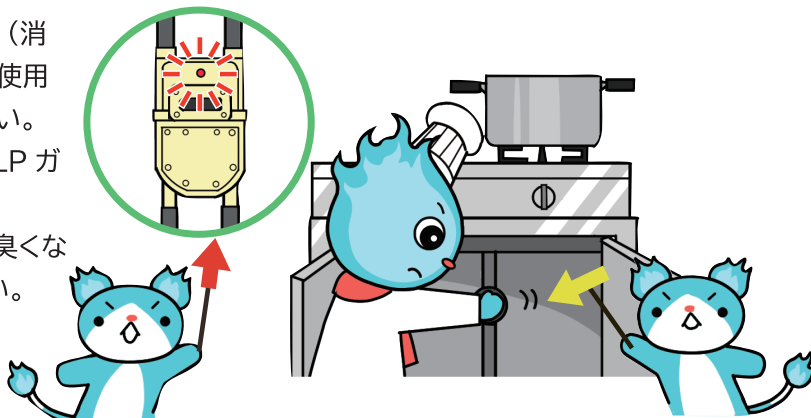
CASE ガス漏れが起きた、または、ガス臭い時

- 火気は絶対に使用しないでください。換気設備・電灯等のスイッチに触れないでください。
- 窓を大きく開けて新鮮な空気を取り入れましょう。
- ガス栓を閉めましょう。
- 安全な場所に避難してください。
- お客さまにもガスもれを知らせて、安全な場所へ避難誘導してください。
- LP ガス販売店に連絡してください。



CASE 地震が起きたら

- 地震がおさまってから、ガス機器の栓を閉め（消火）、ガス栓も閉めてください。LP ガスをご使用の場合は、屋外の容器バルブも閉めてください。
- ガスもれに気づいたらすぐ窓や戸を開けて、LP ガス販売店に連絡し、屋外に避難してください。
- あらためてガスをお使いになる時には、ガス臭くないかよく確かめてからガス栓を開いてください。
- ガス栓を開いてもガスが出ないときにはマイコンメータをチェックしてください。



- 配管系統の変更等設備の大幅な変更は LP ガス販売店と十分連絡をとりながら実施してください。
- ガス漏れを検知した場合等は、直ちに客等を安全な場所へ誘導し、避難させてください。

大規模料理飲食店等施設の管理者は、LP ガス保安連絡担当者を通じ従業員に本周知事項を徹底させてください。

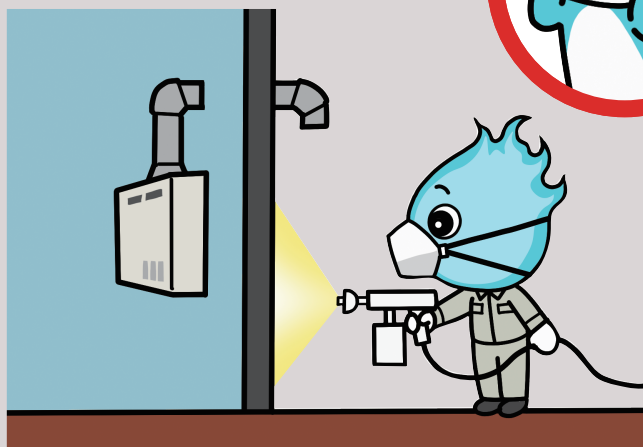
工事をご予定のみなさまへ

リフォームや外装工事 ...こんな時どうする？

敷地内工事の際は ガス管の確認を！

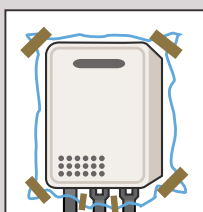
建築・解体・給排水工事。
ガス漏れの恐れあり！

気をつけてニャー！

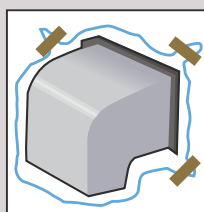


外壁の塗装・清掃・ 増改築の際は要注意！

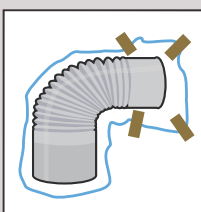
ガス機器の使用はしないでください。
CO中毒の可能性あり！
工事後に排気塔の目張りが除去
されているかご確認ください。



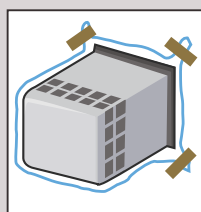
屋外給湯器



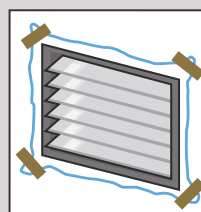
ウェザーカバー



換気扇トップ



換気扇トップ



通換気口

安全確認のため 私たちにご連絡ください！



ミツウロコLPガスサイト

<https://www.mitsuuroko-vessel.com/lpgas/>